



◇連続「景観講座」は、都市景観、建築とまちなみ、都市再生・開発にかかわる第一人者が講師を務めます。「景観」や「まちなみ」、「都市開発」をキーワードとして、専門性と一般性の視野に立って、企業関係者から学生、公務員の方々までを対象としています。連続講座として、来年度は「土木デザイン」「景観色彩計画」「照明デザイン」「ランドスケープデザイン」「住宅景観」等のテーマを取り上げていく予定です。

曽根幸一による“建築とまちづくりの基礎”

第4回 7月17日(木)18時30分～20時30分

1. 〈街の基盤とシルエット〉

街の中の景観形成は建築のシルエットがその基本になっています。この回は都市建築とその基盤になる街区との関係を俯瞰的にとらえ諸外国と比較しながらわが国近代化の都市空間システムについてやや歴史的に論述します。

- 1-1 都市デザインと景観
- 1-2 日本の街と西欧の街
- 1-3 近代の都市空間と開かれた配置
- 1-4 沿道性の持つ意味

第5回 8月28日(木)18時30分～20時30分

2. 〈景観形成のエLEMENT〉

景観の形成は建築物の表層であり道路に散在する諸要素が重要であることが分かります。人とのインターフェイスをどう扱えば美しい街が期待できるのか。この回は公、私にわたる諸要素を分類し、効果的な演出について論述します。

- 2-1 なぜ路地を憧憬するのか
- 2-2 都市論の中の景観論
- 2-3 公・民の領域とELEMENT
- 2-4 景観形成の誘導とその諸相

第6回 9月18日(木)18時30分～20時30分

3. 〈ガイドラインとその調整〉

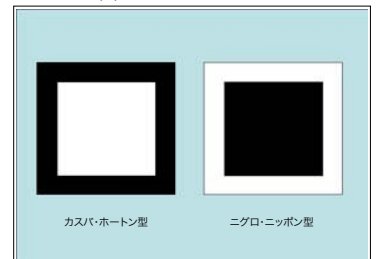
都市デザインは都市計画と違って3次元的であり視覚的なものです。この回は諸行政での景観推進の実態と、幕張ベイタウンでの実務的な体験などを通じてその活動を報告し、あわせて街並み形成の普遍化に向けての課題を提示します。

- 3-1 ガイドラインとその運用
- 3-2 幕張ベイタウンの事業とその体制
- 3-3 ワークショップとデザイン会議
- 3-4 街並み形成の普遍化をめざして

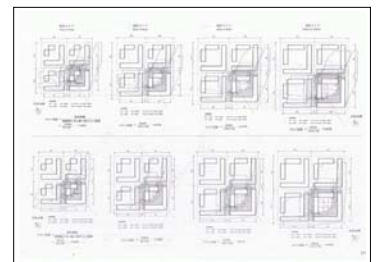
江戸ー明治の東京



フレネルの図



街区と建築



パリの通り



阿姆斯特ダムの街並み



講師プロフィール

曾根 幸一(そね こういち)

環境設計研究所主宰、芝浦工業大学名誉教授

日本建築学会、日本建築家協会ほか／東京藝術大学建築科卒業1959年／日本万国博覧会の会場計画(日本建築学会特別賞)、多摩市複合文化施設・パルテノン多摩(公共建築賞特別賞)／『新しい都市交通』(鹿島SD)、『都市デザインノオト』(彰国社)

次景観講座シリーズ開催案内

講師：高橋 徹

(株)日本設計 常務取締役 都市計画担当

テーマ：“都市開発インディケータ分析”

第7回 10/16(木)

都市・地域の変化のインディケータ

第8回 11/20(木)

都市再開発プロジェクトと景観デザイン

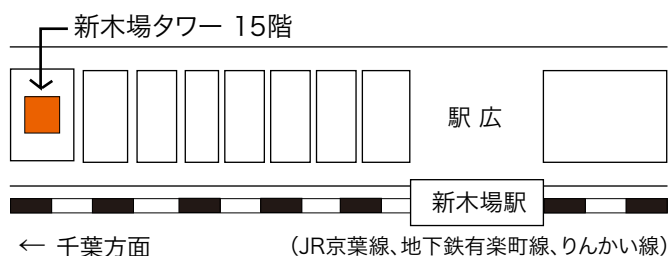
第9回 12/18(木)

都市開発による街の活性化とは

会場風景



◆会場 新木場タワー 15階 東京都江東区新木場 1-7-22



JR京葉線 新木場駅
東京メトロ 新木場駅
りんかい線 新木場駅
より徒歩5分

◆参加費

各回：正会員1,000円、賛助会員個人&団体 2,000円(学生1,000円)、一般 3,000円(学生 1,500円)
3回分：正会員2,500円、賛助会員個人&団体 5,000円(学生2,500円)、一般 8,000円(学生 4,000円)
9回分：正会員6,500円、賛助会員個人&団体13,000円(学生6,500円)、一般22,000円(学生11,000円)



主催 特定非営利活動法人 景観デザイン支援機構 (TDA.J)

[お申込み] E-mail: event@tda-j.or.jp ※定員60名(先着順)

[お問合せ] Tel: 080-6722-4114 http://www.tda-j.or.jp/

※本講座は「都市計画CPD」プログラムの認定を受けています